

## 平成27年度 第2回健康づくり支援部会 議事録

日 時：平成28年2月24日（水）

審議会終了後

場 所：帯広市役所 10階 第4会議室

### ●会議次第

1. 開会

2. 会議

(1) 前回会議の議事録（案）の確認

(2) 平成28年度 健康推進課予算について

(3) その他

3. 閉会

- 出席委員：吉村典子委員、金須俊雄委員、山本勝弘委員、高橋きみ子専門委員、有岡秀専門委員、高橋セツ子専門委員

### ● 議事録

#### ○ 事務局

お晩でございます。

ただいまから、平成27年度第2回健康づくり支援部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席は、健康づくり支援部会、委員8名中、6名のご出席をいただいております、出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

これより議事の進行につきましては、井出部会長が欠席との連絡を受けておりますため、吉村副部会長にお願いいたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

#### ○ 副部会長

それでは、会議に入らせていただきます。

最初に、前回会議の議事録の確認について、議題といたします。

この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

#### ○ 委員

議事録をまとめる時に、事務局の述べる言葉はかなり正確で読みやすい言葉になっていますが、委員の方はそのままになっており、話し言葉と書き言葉が違いますので、考えて

いただきたい。正確を期していることはわかりますが、本来の議事録の性質だけを残していただければいいと思います。残るものですので。

○ 専門委員

違和感を感じます。

○ 副部会長

では、そのあたりはまとめる時に考えていただきましょう。

それでは他になれば、議事録は了承されたものといたします。

次に、平成28年度健康推進課関係予算（案）についてを議題といたします。

事務局から、説明願います。

○事務局

平成28年度の健康推進課関係予算（案）につきまして、説明させていただきます。

資料は1と2になりますが、始めに「資料1」をご覧ください。

平成28年度の健康推進課予算の概要であります、総事業費は、12億4万1千円あります。

内訳といたしましては、左上に、記載してありますように保健衛生総務費が3億3千585万4千円、そのうち、主なものでは、保健衛生推進費が1千169万1千円、公衆浴場対策費が1千231万5千円、看護師等養成機関確保対策費が1千8百24万2千円、帯広厚生病院運営費補助事業費が2億1千万円、介護老人保健施設整備補助事業費が1千4万9千円となっております。

続きまして、右側に行きまして、予防費は、総額で5億3千136万4千円となっており、主なものとしては、がん検診・健康診査費が、1億3千836万2千円。

予防接種費が、2億9千741万1千円、感染症予防費が、7千972万3千円等となっております。

続きまして、左下に行きまして、保健福祉センター費は、保健福祉センターの管理に要します経費で4千576万円を計上しております。

最後に、右下になりますが、夜間急病診療費で、2億8千706万3千円となっております。内訳といたしましては、夜間急病センターの管理運営費が、2億2千76万4千円。在宅当番や二次救急医療など、救急医療対策費が6千629万9千円となっております。

続きまして、資料2、「平成28年度 健康推進課関係予算及び主な事業」であります。

左側に、平成24年度からの27年度までの5年間の予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。

左下の「折れ線グラフ」の各年度の増減を見ていただきますと、一番上の線が、合計額ですが、平成25年度は夜間急病センター改築費による大幅な増と、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化による増となっております。

平成26年度は全国健康都市めぐりの開催や休日夜間急病センターの移転等がありましたが、総事業費としては減となっております。

平成27年度は特別交付税措置を活用した帯広厚生病院等への運営費補助の増額と、水痘ワクチン、高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種化などにより増となっております。

平成28年度は、日本脳炎の北海道における定期接種化による増、二次救急医療の委託料見直しによる減などにより全体として微減となっております。

下の円グラフは、平成28年度の予算の構成比であります。夜間急病診療費23.9%、予防費が44.3%、保健衛生総務費28.0%、保健福祉センター費が3.8%の順となっており、予防費が前年と比べ大きくなっております。

次に、「平成28年度の主な事業」についてであります。資料の右側をご覧ください。はじめに、「看護師、歯科衛生士等の人材育成」ですが、帯広コア学園に歯科衛生士科が開設されるにあたり、校舎増築費の一部を補助するものです。

また、子育てなどで離職した潜在看護師を対象に行う訪問看護等の研修会の受講者募集のための周知をするものです。

次に、「中学生に対するピロリ菌検査」であります。中学3年生を対象に学校で尿検査によるピロリ菌検査を実施するものです。ピロリ菌は胃がんの主な原因であり、早期に取り組むことで胃炎などの予防や胃がんのリスクの大幅な減少が期待されます。

次に、「日本脳炎定期予防接種」であります。平成28年度より北海道も実施区域となりました。ワクチンの安定供給を図るために、北海道が示した考え方に従い、20未満の優先すべき対象者から年度ごとに段階的に進めるものです。

説明は以上です。

○副部長

ただいまの事務局の説明につきまして、皆さまから何かご質問やご意見はございますか。

○専門委員

予防費の中で、BCG・ツ反はずっと続いていますか。

○事務局

ツ反はなくなっていますが、BCG接種は実施しています。

○専門委員

ツ反をせずにBCGを行っているんですか。

○事務局

そのため、対象は5か月児に実施しています。その時期では結核に感染していないということが前提となり、ツ反を行わずBCGができることとなっています。

○専門委員

私は小学生の時に毎年ツ反がマイナスで、BCGを行っていました。小学5年生で肺結核となり、医師からはBCGが原因だと言われました。生後すぐに実施するのは怖いです。

○事務局

BCGの接種方法は、変更されてきています。現在の所は、そのような報告を伺ったことはありません。

○副部長

受診率はほぼ100%ですか？

○事務局

90%以上の方が受けられています。

○専門委員

費用はこちらでもっているのですか？

○事務局

そうです。

○専門委員

だから受けるんですね。

○専門委員

健診か何かと一緒に実施しているのですか。

○事務局

そうです。5か月児健診と同時に行っています。

○専門委員

予防接種は怖いですね。

○事務局

これは、結核予防法に基づいて実施しています。

○専門委員

以前、小学校で蟻虫検査を行っていました。今はないのでしょうか。

○事務局

現在はほとんどいなくなり、実施しない方向で動いてるそうです。

○副部長

この、日本脳炎は、北海道も暑くなったからということで実施するのですか。

○事務局

北海道には日本脳炎を媒介する蚊はいませんが、人の動きが頻回となり転出入も考慮して実施することとなります。

○副部長

歯科衛生士ですが、帯広十勝で30人ずつ養成して就職先はあるのでしょうか。

○事務局

現在、帯広市内だけでも100件前後の歯科医院があります。中には歯科衛生士の確保が困難で、助手という形で入っている所もあるようです。歯科医師会の中では、歯科衛生士の確保が課題となっています。

○委員

帯広は歯科医院が多くありますね。

○副部会長

その他に何かありますでしょうか。他になければ、事務局から何かありますか。

○事務局

次回の健康づくり支援部会の日程であります、11月上旬を予定しておりますが、日程等につきましては、井出部会長と調整のうえ、委員の皆様にご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上で予定されている議事は終了いたしました。本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。